

平成29年11月15日
農林水産部食料産業振興課
産業労働部国際経済課
観光営業部広域誘客課

アジア市場への売り込み 現地レポート
(11月14日分 訪問先：シンガポール)

1. 福井の食文化提案会(14:30~16:30)

(1) 場所 レストラン「ルーウィン・テラス」

(2) 出席者

【シンガポール】日本料理店などレストラン、ホテル、食品・工芸品など輸入卸業者、メディア、旅行社、日本政府機関など関係者

【福井県】	福井県農協五連会長	田波 俊明
	福井県漁業協同組合連合会長	平野 仁彦
	福井県観光連盟会長	勝木 健俊
	福井県経済農業協同組合連合会代表理事理事長	香川 哲夫
	福井県農林水産部技幹(水産)	松崎 雅之
	同 観光営業部企画幹(広域誘客)	安本 幸博
	同 農林水産部食料産業振興課長	岡本 吉央
	同 水産課長	鈴木 聖子 など

(3) 内容

日本料理店などレストラン、ホテル、食品・工芸品など輸入卸業者、メディア、旅行社、日本政府機関など関係者約120名を対象に、福井の食材を使った料理、日本酒を味わってもらうとともに、越前漆器や越前焼の食器などの食を彩る工芸品を売り込み、食文化を活用した本県への観光誘客を行った。

○主な内容

- ・松崎技幹(県)による主催あいさつ、香川代表理事理事長(県経済連)による地酒カクテルでの乾杯
- ・田波会長(県農協五連)、平野会長(県漁連)、勝木会長(県観光連盟)による新たなブランド食材(いちほまれ、ふくいサーモン)や観光のプレゼンテーション
- ・ふくいの食アンバサダーである友田晶子氏による地酒カクテルの実演等
- ・現地のシェフによる本県食材(ふくいサーモン等)や越前打刃物、越前焼の器を使ったライブ・クッキング(調理デモンストレーション)

○主な使用食材

いちほまれ、ふくいサーモン、越前がに、越前がれい、甘えび、とみつ金時、越のルビー、上庄さといも、そば麺 など

○来場者の声

- ・いちほまれは粘りと甘さがあり、美味しさを感じた。(ホテル)
- ・ふくいサーモンは色が鮮やかで、臭みがなく使いやすい。(日本料理店)
- ・海外だからという先入観は持たなくてよい。福井として自信のある食材で勝負すべき。越前がにや甘えびは十分に魅力がある。(食品輸入卸業者)
- ・既に人気の北海道やゴールデンルートに替わるデスティネーションを探しており、冬の雪や越前がになどの素材のある福井は有力であると感じた。(旅行業界関係者)



▲食文化提案会 福井の地酒カクテルによる乾杯
(於ルーウィン・テラス)



▲食文化提案会 ライブ・クッキング
(於ルーウィン・テラス)



▲食文化提案会 会場風景 (ルーウィン・テラス)

2. 食品・工芸品・観光商談会 (13:00~17:00)

(1) 場 所 レストラン「ルーウィン・テラス」 ※食文化提案会と同会場

(2) 出席者

【シンガポール】日本料理店などレストラン、ホテル、食品・工芸品など輸入卸業者、
百貨店・小売スーパー、旅行社など約80社

【福井県】 県内事業者 17社・団体

食 品 14社・団体 (米、日本酒、梅酒、水産品、農産品、そば、味噌 等)

工 芸 品 2社・団体 (越前漆器、越前焼)

観 光 1社・団体 (観光団体)

(3) 内 容

食文化提案会に合わせて、実際に現地レストラン等との取引や本県への観光誘客につながるよう、県内の食品事業者や漆器等の工芸品事業者、旅館等の観光事業者による商談会を開催した。

○県内事業者、商談相手先の声

- ・昨年度も商談会に参加し、香港では小売スーパーとの取引が始まった。シンガポールはまだないため、今回の商談を通じて相手を探したい。(県内の食品事業者)
- ・現地の日本料理店からオリジナルの色や形で商品を作りたいとの話があった。今後も連絡を取り、取引につなげていく。(県内の工芸品事業者)
- ・越のルビーは甘みと酸味のバランスが良い。(現地のホテル)
- ・シンガポールでは健康への関心が高くなってきている。店でも茶そばを使っており、そば麺の需要は今後高まっていくだろう。(現地の日本料理店)
- ・梅酒は女性に人気がある。アイスクリームやシャーベットなどデザートとして使うことができる。(現地の中華料理店)



▲商談会（於ルーウィン・テラス）

3. その他の主な現地活動

- ・ 農漁業団体（県農協五連の田波会長、県漁連の平野会長、県経済連の香川代表理事理事長、県農林水産部の松崎技幹（水産）ほか）では、個別に現地の日系高級スーパー「明治屋」と日本料理店「茜」を訪問し、本県の農林水産物の取引に向けたセールス活動を行った。
- ・ 観光団体（県観光連盟の勝木会長、県観光営業部の安本企画幹（広域誘客）ほか）では、個別に現地の旅行社「Pacific Arena」と航空会社「JALアジアオセアニア地区支配人室」を訪問し、本県への誘客拡大への働きかけを行った。